

ブラジリアの7不思議



善意の神殿

ブラジルの首都で最も来訪者の多いモニュメント





ジョゼー・デ・パイヴァ・ネット
(José de Paiva Netto)

ジャーナリスト、ラジオアナウンサー、作家、作曲家、詩人。善意の教団（レジオン・ダ・ボア・ボンターデ：LBV）理事長、ブラジル・ジャーナリスト協会（ABI）、ブラジル国際ジャーナリスト協会（ABI Inter）、全国ジャーナリスト連盟（Fenaj）、国際ジャーナリスト連盟（IFJ）の会員。

「善意の神殿は、以下に掲げた、世界における歴史的役割を貫徹します。それは、分離反目に疲れ果て、一切の制限を課することなく地上における完全な世界教会運動の確立を心から望んでいる神の子羊たちを、連帯的に保護すること。それは世界における、宗教・哲学・政治・科学・経済・芸術、さらにスポーツ等の精神の総体的な一新であり、真の精神的ルネッサンスなのです。物質としての教会を建てることより重要なことは、人の心の中に生きた神の神殿を宿らせることなのです。LBVは設立以来、これを実践しています。しかしながら、その必要性から、この第3千年紀に人類を友愛に導くことになる、人間と魂の和解のシンボルが顕現したのです。そのため、この地において私たちは善意の神殿と合間見えているのです」

善意の神殿がブラジルのブラジリア連邦区の7不思議に選ばれました。

ブラジリアの7不思議として民衆の賞賛を受けた善意の神殿（TBV）は、1989年10月21日にパイヴァ・ネット理事長によって落成されて以降、1,800万人以上の巡礼者と観光客の訪問を受けました。連邦区経済開発観光局（SDET）の公式データによりますと、当神殿は首都において最も訪者の多いモニュメントになっています。パルラムンディ（国際フォーラム会場）と運営本部に並んで建つこの平和の神殿は、善意の教団における、世界教会運動複合施設を構成しています。

住所 SGAS 915, Lotes 75/76 お問い合わせ Tel: (+5561) 3245-1070 www.tbv.com.br



TBV—善意の神殿— 平和のオアシス

1989年10月21日、ジャーナリスト、ラジオアナウンサー、作家、詩人であるジョゼー・デ・パイヴァ・ネット理事長は、ブラジルの連邦区ブラジリアで善意の神殿（TBV）の落成式を執り行いました。この神殿は別名、平和の神殿あるいは輝ける魂のピ



ラミッドとしても知られており、極めて美しく、ほどなく世界教会運動の巡礼地になっています。この神殿は、民族や哲学、宗教と政治の信条、無神論者と物質主義者をすべて含めた、地上界及び天上界のあらゆる者が制限を受けることなく親睦を深め、世界教会運動を振興することを理想とする、独自の先駆的事業なのです。

TBVは、普遍の愛と生命の賛美、完全なる世界教会運動を最も象徴するもので、LBV善意教会理事長の手による落成時から現在に至るまで、毎日24時間、訪問客を受け入れています。ブラジリアで最も来訪者の多い施設であるのには、理由があります。ロット75/76、クアドラ915番南のこの施設を訪れる人が次第に増加しているのは、そこが、この街を訪れた人にとって避けるべからざる約束の地になっているからなのです。

TBVの設計には、すべて相応の理由があり、いずれも世界教会運動として明確かつ否定することができない提案に関連しています。建物の各要素においては、より優れた精神性とより高い文化、更なるエコロジー、より良い科学医療と精神医療という、調和を保ってより高貴な感性へと人を導いてくれる、以上のような事象の出会いの場となるべく、細心の注意を払って工夫が凝らされています。モニュメントのサイズとプロポーションは完全体を象徴する数字「7」、そして「1」に関連しています。そのため、ピラミッドは7面を持ち、高さ21メートル、直径28メートルです。その頂点には純粋な水晶がはめ込まれています。



聖なる水晶 - ピラミッド型の善意の神殿の頂点には世界最大の水晶の単結晶がはめ込まれています。水晶は完全なる世界教会運動、神の統合的出現を象徴しています。研究者によれば、聖なる水晶は環境を浄化して、その場所に入る人たちに降り注ぐエネルギーの触媒の効果を発揮します。

善意の神殿の身廊 - 床は、渦巻状にデザインされた御影石が敷かれ、身廊へ入った来訪者は反時計回りに暗い色に着色された通路を進みます。この通路は均衡点を求めて人類が歩む道を象徴しているのです。ピラミッドの中心、すなわち、水晶の真下には、悟りの光を象徴する円形のブロンズ・プレートがおかれていて、新たな順路が始まります。そこからは明るい色の通路を時計回りに進みます。それは、人間存在自身の努力によって身に着けた倫理的価値と精神性によって照らされた道を意味し、その終点には神の玉座と祭壇が置かれており、そこで神の祝福を受けるのです。



神の玉座と祭壇 - 善意の神殿の身廊に設置された、芸術と世界教会運動の象徴です。自然界の基本要素である火と空気、土、水をもって造物主(天上の父)を表しています。宗教の宗派によらず、この聖地を訪れた人々にとって、造物主に対する信仰の対象となるものです。イタリアの彫刻家、ロベルト・モリコニ(1932-1993)の作品で、東西方向を向いており、これは東洋の神秘主義と西洋の実用主義の融合を示しています。さらに作品には、彫刻家の提案によって、パイヴァ・ネット理事長の言葉「人生の目的へ再出発するのはいつの日でも好日である」と刻まれています。



貴賓室 - 広大な面積をほこり、その中には世界各国を代表する人々から、善意の神殿に贈られた寄贈物の一部が展示されています。

“人間性の発展”パネル - この作品も貴賓室に展示されています。LBV役員の提案によって、芸術的表現がなされたイエスの周囲に、人間性に対して敬意を払うという点で傑出した活動を行って歴史に名をとどめた様々な人々を配置しています。

エジプト・ルーム - 古代エジプト様式を3次元的に取り入れた空間は、不滅の造物主との精神的な出会いによって、本来備えていた活力を再び取り戻すのに理想的な環境が作り出されています。次元の間を行き来するための入り口として、この部屋に入った人々は、より軽度で高貴な霊体に満たされた感覚を味わうことでしょう。絵画と彫刻はマルセル・オエルマイヤー氏の作品。善意の神殿の建設者いわく、「もしエジプトまで行けないのなら、TBVがエジプトをあなたの元に届けましょう」。エジプト・ルームの入口に「死者は死なない」というパイヴァ・ネット理事長の言葉が、古代エジプト文字、ポルトガル語、英語、イタリア語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、日本語で記されています。



曼荼羅 - 造形美術家の故ウラ・ハンセル(1938-1992)がLBVに残した大理石に組み込まれた水晶による2面の巨大パネル。この曼荼羅はLBVが提唱している完全な世界教会運動(善意を通して人類のあらゆる活動分野で神に出会うという円)を象徴しています。裏面は人類の精神的向上の模索を表現しています。



アルジロ・ザルールの記念館 - 完全な世界教会運動の神殿を最初に構想した、善意教団の創設者アルジロ・ザルール氏(1914-1979)を偲び敬意を表する空間です。完全な世界教会の運動のための神殿を最初に構想されました。記念館の奥の壁はアラゴアス州出身の画家、サチロ・マルケスによる「征服」と題したパネル絵で、イエスの黙示録で白馬にまたがる騎士が人類の精神的苦悩に勝利する場面が描かれています。

アートギャラリー - 570平米という、ブラジリアで最も大きな面積をもつ美術展示場のひとつ。著名な画家の収蔵品のほか、巡回展示物も鑑賞できます。また、若い芸術家を育成するアトリエも設けられており、国内外の芸術家たちの創作活動を支援しています。



聖なる泉 - その水が治療効果を持つために多方面からの名声をいただいている場所です。掘り抜き井戸を源泉とするこの貴重な水は、様々なフィルターを通され、善意の神殿の身廊を通過し、そこで水晶のエネルギーを受けて噴水に沸き出しています。1996年2月16日、パイヴァ・ネット理事長はここに、ブロンズでできた18世紀のフランスの彫像を世界教会運動の救世主、キリストの象徴として設置いたしました。LBVの指導者である同理事長の、「水は生命。水なくてはあらゆるものが存在し得ない。水を汚染することは人類に対する罪である」という言葉が刻まれています。



ジョゼー・デ・パイヴァ・ネット記念館 - TBV内最新設のこの記念館は、パイヴァ・ネット氏が善意教団活動に身を投じてから50周年を記念する2006年に落成されました。善行という理由に身を捧げたひとりの男性の多大な努力の本質に迫る展示を通して、LBVの歴史に関するいくつかの決定的な出来事を追体験することが可能です。さらにパイヴァ・ネット理事長の幼年時代から少年時代、学生時代、家族たちの写真も収蔵しています。また、日本製アカイ社の機器が2台展示してありますが、これはLBVの設立者であるアルジロ・ザルール氏(1914-1979)の歴史的説話を収録した録音機です。ほかに珍しい物として、インドのマンモハン・シン首相から送られた、自国ジャイプール地方由来の木製彫刻の像と、大理石と金箔を使った手作りの時計、さらに仏僧イヴォネッテとリカルド・マリオ・ゴンサルヴェス氏から送られた袈裟等、貴重な品々が展示されています。

世界教会運動友愛会議場(LBVのパルラムンディ) - パイヴァ・ネット理事長により、1994年12月25日、10万人以上の人々が参列する中で落成されたこの施設は、社会的・人間的・精神的秩序のような人生の基本的な問題を取り上げて、地球上の民族の間で完全なる理解を目指した、無制限的な世界教会運動のフォーラムの場となることが目的です。



学生交流室 - パルラムンディ内部に設置されており、瞑想スペース、インターネットと図書館、ビデオライブラリ、小さいながらも漫画ライブラリを備えた学習と調査スペースがあり、学生だけを対象としたものではなく、広く一般の方々にも家庭的な雰囲気だけで利用いただけます。この施設は、毎年12万人以上の学生に利用されています。

LBVを支援してあなたの能力を高めましょう！

寄付をご希望の方は下記の銀行口座へ お願いいたします。

銀行: HSBC - 支店番号: 0343 - 口座番号: 63275-24

銀行: SANTANDER - 支店番号: 0239 - 口座番号: 13002754-6



あなたのイベントをLBVのパルラムンディ (国際フォーラム会場)で成功させましょう



各種イベントの開催に理想的な広さを持っています。建築設計は、小規模のイベントから中規模、さらに大規模のものまで、いずれにも適しており、国際規格を備えているのが特徴です。空調を完備した建物は5階建てで、講堂、貴賓室、ワークショップと展示イベント用のサロン、図書室、学習室、最新のオーディオビジュアル機材を備えています。

SGAS 915 — Lotes 75/76 — Brasília/DF — Brasil

Tel.: (+5561) 3245-1070 — Fax: (+5561) 3345-0050

Internet: www.parlamundieventos.com.br — www.boavontade.com

ご利用の際はホームページで価格表を御高覧下さい。